

今月は没後100年以上経った現在でも読み続けられている世界的文豪の本です。

『人にはたくさんの土地がいるか』

レフ・トルストイ／著 北御門 二郎／訳 あすなろ書房 2006年 ¥900(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★☆☆ 中学生★★★★
高校★★☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

自分の土地をできるだけ広く手に入れたいと望む主人公が、その欲望のために命を落とす表題作と、卵ほどの大きさの謎の穀物の正体を皇帝が追い求める「卵ほどの大きさの穀物」の2作を収録。世界的文豪であるトルストイが、自身の大作を否定し「単純に、簡素に、わかり易く」書いた民話。シリーズ「トルストイの散歩道」(全5巻)の3巻目。

<子どもに手渡す時のポイント>

本文は2作で50ページ程度と短い話で、朝の読書の時間などにもおすすめです。

本の4分の1程度ものボリュームがある巻末の略年譜では、トルストイの身に起きた出来事だけでなく、彼の考え方の変遷や、彼が影響を与えた著名人など、トルストイを詳しく知ることができるので、作品や著者に興味を持った子どもには、ぜひその頁も勧めてみて下さい。

トルストイ研究とその翻訳に人生を捧げた訳者の北御門二郎の伝記『北御門二郎魂の自由を求めて：トルストイに魅せられた良心的兵役拒否者』(ぶな 葉一／著 銀の鈴社 2014 ¥1200)も出版されています。併せて紹介してもよいと思います。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

